

中小企業 いばらき

CONTENTS

クローズアップ	1
Voice	8
中央会ニュースダイジェスト	10
月次景況調査結果	14
国・県・関係機関等からのお知らせ	17
中央会だより	19

October

10

2024 No.792

クローズアップ

●第76回中小企業団体全国大会の概要



写真 「組合まつり in TOKYO～技と食の祭典!～」(写真紹介、記事は表紙裏面ページに掲載)

あなたのチャレンジを 応援します！

企業とともに未来へ

LINEはこちら！▶

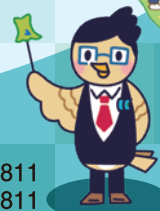
最新情報や経営支援などの情報を配信中！
右の QR コードを読み込むか、公式アカウントより「茨城県信用保証協会」で検索し、友だち登録をお願いします。



ホームページ
はこちら！▶



茨城県信用保証協会



本店 〒310-0801 水戸市桜川二丁目2番35号 茨城県産業会館内 TEL 029-224-7811
土浦支店 〒300-0043 土浦市中央二丁目2番28号 TEL 029-826-7811

表紙の紹介

組合まつりで県産品と観光をPR

茨城県中央会

東京都中小企業団体中央会（會津健会長）の「組合まつり in TOKYO ～技と食の祭典！～」が10月30日・31日に東京都千代田区の東京国際フォーラムで開かれ、全国の中小企業組合など132団体が出展し、一般の来場者やバイヤーなど約12,000人が来場した。

組合まつりは、全国各地の特産品等の展示販売、各中小企業組合及び組合員等の事業内容等の紹介や商品等の展示販売を行うことで、中小企業組合や組合員等の新たなビジネスチャンス創出につなげることを目的に毎年開催されている。今年で8回目。

特設ステージでは、2004年のアテネオリンピックで柔道史上初の3連覇を達成した野村忠宏氏の基調講演やお笑いコンビのダイノジによる出展組合紹介ステージ、出展者の食材を使用したオリジナルレシピの調理方法を紹介する限定グルメ企画が行われた。

茨城県中央会では、ほしいも、納豆、日本酒、ビール、ウイスキー、結城紬のネクタイや名刺入れ、

笠間焼の皿などを展示販売した。また、県内の観光スポットやホテル・旅館を紹介するパンフレット等を来場者に配布し、本県の観光PRを行った。茨城県中央会の出展は6回目。ブースに訪れた来場者からは「茨城の魅力を知ることができた」などの声が聞かれた。

出品・出展組合（組合員等）

- ・茨城中央ほしいも協同組合（有）扇屋商店、（株）小池清嗣商店、（株）幸田商店、（有）米屋、（株）マルヒ、ほしいも専門店大丸屋
- ・茨城県納豆商工業協同組合（有）菊水食品
- ・茨城県酒類工業協同組合（青木酒造（株）、資井坂酒造店、稲葉酒造、資浦里酒造店、岡部（名）、（株）木内酒造1823、（株）月の井酒造店、（株）武勇、明利酒類（株）、森島酒造（株）、吉久保酒造（株）、来福酒造（株）
- ・本場結城紬卸商協同組合（奥順（株））
- ・笠間焼協同組合（青年部員）
- ・茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合

第76回中小企業団体全国大会の概要

全国中小企業団体中央会と福井県中小企業団体中央会の「第76回中小企業団体全国大会」が10月24日、福井県福井市のフェニックス・プラザで開催され、全国から約2,000名の中小企業団体の代表者らが参加しました。

中小企業団体全国大会は、中小企業の実情を訴え、国等に対する中小企業振興施策の充実等の要望を決議するために毎年開催されています。

第76回中小企業団体全国大会では、「つながる ひろげる 連携の架け橋 ～幸せ紡ぎ新しい未来へ～」をテーマに掲げ、「中小企業・小規模事業者等の環境変化対応、成長促進支援等の拡充」「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」を柱とする43項目の要望事項を決議しました。

本号では、同大会の決議内容や本県の表彰者等を紹介します。

I 第76回中小企業団体全国大会の開催概要

1. 目的

近年、我が国では自然災害が相次ぎ、国際情勢の緊迫化やエネルギー・原材料価格の高騰など、中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は厳しさを増している。

第76回中小企業団体全国大会 福井大会の開催地である福井市は、戦災、震災、水災などの度重なる災害にもかかわらず、市民の努力によりこれらの災禍を乗り越え蘇ってきたことから、不死鳥（フェニックス）が市及び市民のシンボルとされている。

北陸新幹線 福井・敦賀開業という新たな連携・交流が始まる節目の年に、幸福度日本一と言われる福井の地から、中小企業・小規模事業者が再び不死鳥のごとく羽ばたくことを願い、大会テーマを次のように掲げ、皆が幸せを実感できる社会（ウェルビーイング社会）の実現と中小企業組合の持続的な成長・発展を目指す。

〈第76回中小企業団体全国大会のテーマ〉

つながる ひろげる 連携の架け橋

～幸せ紡ぎ 新しい未来へ～

2. 主催

- ・全国中小企業団体中央会
- ・福井県中小企業団体中央会

3. 日時及び場所

- ・開催日時
令和6年10月24日（木） 13:40～16:30
- ・開催場所
「フェニックス・プラザ エルピス大ホール」
福井県福井市田原1丁目13番6号

4. 後援及び協賛

- ・後援
経済産業省、総務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、中小企業庁、福井県、福井市、近畿ブロック中小企業団体中央会連絡協議会

・協賛

(株)商工組合中央金庫、(株)日本政策金融公庫、(独)中小企業基盤整備機構、(独)勤労者退職金共済機構、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構、(公財)全国中小企業振興機関協会、(一社)全国信用保証協会連合会、(有)エヌ・エス・エイサービス

5. 大会プログラム

- ・オープニングアトラクション（福井商業高校チアリーダー部JETS）
- ・祝辞
- ・議事
- ・大会宣言
- ・表彰式（優良組合・組合功労者・中央会優秀事務局専従者）



全国大会の様子

II 第76回中小企業団体全国大会の開催内容

1. 開会挨拶

森洋全国中小企業団体中央会会長は「現在の中小企業・小規模事業者の経営環境は、人手不足の深刻化、原材料・エネルギー価格をはじめとする物価高騰と人件費等のコスト上昇を販売価格に十分反映できない価格転嫁問題、設備投資や賃上げ原資の確保、事業承継・事業引継ぎなど課題が山積している。

これらの課題の解決に向けて全国約3万の中小企業組合等から多数寄せられた切実な要望項目を本日の決議（案）として上程する。

戦災、震災、水災などの度重なる災害を乗り越え蘇って来た、ここ福井の地から、中小企業・小規模事業者が不死鳥（フェニックス）のように、数々の困難を乗り越え、輝ける未来をつくっていきたい」と述べた。



森全国中小企業団体中央会会長

2. 開催地挨拶

稲山幹夫福井県中小企業団体中央会会長は「我が福井県は、合繊織物などの繊維や眼鏡などの国内トップシェアを誇る地場産業とそれを支える機械産業が地域経済を牽引している。1,500年の歴史を持つ越前漆器や越前和紙など7つの国指定の伝統的工芸品産地が集積していることも特徴で、それぞれ組合が大きな役割を果たしている。また、地元ショッピングセンターの多くが組合で運営され、地域の日常生活を支えている。本大会を契機に、本県の産業や組合にも是非関心を持っていただきたい。

さて、日本の全企業数の99.7%、全従業員数の69.7%を占め、我が国経済を支えているのは我々中小企業・小規模事業者である。

中小企業組合の理念である相互扶助の精神に立ち返り、協同の力で地域と我が国の経済を元気にしていくとともに、本大会が、中小企業組合の持続的な成長・発展と、皆が幸せを実感できる社会、ウェルビーイング社会の実現を目指す先駆けとなる大会となることを強く期待したい」と述べた。



稲山福井県中小企業団体中央会会長

3. 歓迎挨拶 来賓祝辞

中村保博福井県副知事と西行茂福井市長が歓迎の挨拶を行い、来賓紹介の後、武藤容治経済産業大臣、福岡資麿厚生労働大臣がビデオメッセージで、関根正裕(株)商工組合中央金庫代表取締役社長が会場で祝辞を述べた。



中村福井県副知事



西行福井市長



武藤経済産業大臣



福岡厚生労働大臣



関根(株)商工組合中央金庫代表取締役社長

4. 議事、決議経過報告、議案上程、意見発表、議案採決、大会宣言

議事は稲山福井県中小企業団体中央会会長が議長に、野村泰弘大阪府中小企業団体中央会会長、伊藤學人広島県中小企業団体中央会会長が副議長となり進行。佐藤哲哉全国中小企業団体中央会専務理事が、前回大会で決議された要望事項について、国等への要望活動などの決議経過報告を行うとともに、本大会で決議する議案を上程した。

続いて、櫻井一郎熊本県中小企業団体中央会会長の意見発表の後、「中小企業・小規模事業者等の環境変化対応、成長促進支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社の積極的な事業活動を支える環境整備」を柱とする43項目の要望事項の決議と大会宣言が採択され、その後、若山健太郎福井県中小企業団体青年中央会会長が大会宣言を宣した。

第76回中小企業団体全国大会決議【重点事項】

○背景・目的

- ・ 度重なる自然災害の発生、国際情勢の緊迫化、エネルギー・原材料価格の高騰、人件費上昇等により引き続き厳しい経営環境にある中、十分な価格転嫁が進まず、賃上げや設備投資の原資確保に苦しむ中でコスト高、既往債務返済のための資金繰り、後継者不足等、事業の継続が難しくなる事業者も増えるなど中小企業・小規模事業者の経営課題は山積している。
- ・ 中小企業・小規模事業者が難局を乗り越え、地域経済を支え続けるためには、事業者やそれらが協同して経営資源を補完・補強し合う組合等に対する国等からの支援策が不可欠である。
- ・ 物価高で困窮する中小企業・小規模事業者が安心して事業と雇用が継続できる環境の整備や取引適正化への支援、事業者の実態に即したDXやGXの推進、事業再構築や生産性向上の支援等をこれまで以上にを行い、持続的な成長、豊かな地域経済社会の実現に向け、全国約3万の組合等からの生の声を踏まえた本決議事項の実現を国等に強く求める。

I. 中小企業・小規模事業者等の環境変化対応、成長促進支援等の拡充

1. 急激な事業環境変化への対応、経営課題解決に向けた支援の拡充強化
 - (1)適正な「マークアップ率」を確保・向上しやすい環境醸成のための総合的な支援策の実施
 - (2)国主導による下請取引環境の改善や商慣習の適正化、健全な経営環境の構築・整備、支援策の拡充・強化
 - (3)施策の総動員による、業績の改善・向上を伴う賃上げ原資の確保に向けた環境整備、支援策の強化・拡充
2. 成長促進、持続的発展に向けた支援の拡充強化
 - (1)「ものづくり補助金」の長期的・安定的な継続、要件緩和、手続き簡素化、地域事務局予算の増額
 - (2)スタートアップ活動に対する支援強化、特区の指定等による持続的な経営実現の後押し
3. 中小企業団体中央会の支援体制・予算の抜本的拡充、中小企業組合制度の活用拡充・運用改善
 - (1)組合の新規設立促進、連携組織の挑戦への伴走支援を推進する中央会の事業費の十分な確保
 - (2)組合等連携組織に対する支援策の強化、各種施策等の有効な推進主体としての積極的な活用
4. 強靱かつ活力ある地域経済社会の実現、持続可能な地域振興
 - (1)能登半島地震におけるなりわい再建、商店街への各種補助金の要件緩和、手続き簡素化
 - (2)組合等連携組織を活用したBCP・BCMに対する支援強化、危機管理体制整備への支援措置拡充
 - (3)特定地域づくり事業協同組合制度の柔軟な制度設計や支援の拡充
 - (4)2025年大阪・関西万博での中小企業等・組合へ

の積極的発注、工期確保などの万全な対策

II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

1. 人材育成・確保・定着対策
 - (1)人材の確保・育成に伴う支援策の強化・拡充
 - (2)中央・地方最低賃金審議会での事業者の支払能力も踏まえた審議実施
2. 中小・小規模事業者に配慮した働き方改革と社会保険制度の構築
 - (1)雇用保険財政運営の抜本的な見直し
 - (2)「年収の壁」に対する支援策の実施、制度の抜本的な見直し
 - (3)建設業、運送業における支援策の実施
3. 育成就労制度への円滑な移行の推進
 - (1)制度の運用設計における地域事業者への配慮、決定事項の速やかな情報公開
 - (2)現行の技能実習制度2号移行対象職種の対象化、特定技能分野の拡大等
 - (3)転籍についての正当な補填
 - (4)移行についての適切な対応
 - (5)新たな費用負担が生じる場合の支援措置
 - (6)地域協議会設置による所管行政庁へ上申できる仕組みの構築

III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1. 中小企業金融施策の拡充
 - (1)事業継続に資する金融支援策の継続・拡充・条件緩和、借入金の負担軽減、切れ目のない支援の継続、各種支援窓口の充実・強化、手続きの簡素化
 - (2)資本性劣後ローンの取組み強化のための要件の見直し
 - (3)多重債務問題軽減のための利子負担の軽減や高度化資金の減免、商工中金・日本政策金融公庫等が借換え等に応じやすくするための措置
2. 中小企業・組合税制の拡充
 - (1)中小法人・組合の法人税率の軽減措置の恒久化、中小企業組合への措置拡充（企業組合、協業組合）
 - (2)中小企業向け設備投資支援税制の延長、拡充
 - (3)インボイス制度について、導入に伴う特例措置の延長・恒久化、実態に応じた柔軟な運用、事業協同組合の共同事業に係る特例の創設、消費税の二重課税の早期解消
 - (4)事業承継税制の特例措置の延長、要件の見直し、拡充
3. 中小製造業等の持続的発展の推進
 - (1)「ものづくり補助金」の継続、拡充、要件の緩和、特別枠の追加措置、申請手続きの簡素化、フォローアップ支援事業の復活・拡充
 - (2)「省力化投資補助事業」の要件拡充、対応の迅速化に向けた体制強化
 - (3)サプライチェーンの強靱化、下請取引の適正化、下請法の厳正な運用

4. エネルギー・環境対応への支援の拡充
- (1)電力・ガスの安定供給とエネルギーコストの負担軽減の対策強化
 - (2)先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金の継続、拡充
 - (3)カーボンニュートラル達成に向けて取り組むために必要な支援措置
5. 卸売・小売業・まちづくりの推進に対する支援の拡充
- (1)商店街及び個店を含む地域の商業者に対する長期的な視野に立った地域商業支援策の実施、地域振興やまちづくりの担い手としての機能・役割明確化
 - (2)キャッシュレス決済普及推進のための支援策の拡充、新紙幣発行に伴う設備投資等の中小小売業、商店街組合等への支援の強化・拡充
6. サービス業支援の強化・拡充
- (1)高速道路の整備、デジタル・AI技術の導入、共同配送ネットワークの充実、社会設計としての「モーダルシフト」の推進等、総合的な物流対策の強化、労働環境の改善支援
 - (2)観光・イベント関連業等への幅広い消費喚起策、誘客促進等支援、インバウンド需要獲得対応・対策
7. 官公需対策の強力な推進
- (1)自然災害の復旧・復興への緊急随意契約・前倒し発注の実施など官公需適格組合等の積極的活用、災害協定等締結等の官公需適格組合等への平時における優先発注・インセンティブ付与
 - (2)物価に負けない賃上げ実現のための官公需における価格転嫁の推進
 - (3)予定価格積算の調査・額の決定方法の統一と適正な単価設定、コスト上昇分の確実な盛り込みを含む予定価格の見直し働き方改革関連法に対応した必要経費の適切な計上
 - (4)少額随意契約の正確な広報、原材料費・人件費等の上昇、消費税率引上げ等を勘案した適用限度額の大幅な引上げ
- ※誌面の都合で項目のみの紹介となりますが、決議の全文及びその背景等は、以下の全国中央会ホームページの「第76回の全国大会決議」でご覧いただけます。
- <https://www.chuokai.or.jp/index.php/organizationoverview/nationalconvention/>



全国中央会ホームページ

なお、本大会で決議した要望事項は、全国の約3万組合等から挙げた中小企業振興施策実現に向けた要望を各都道府県中央会の専門委員会、全国7ブロックの会長会議、都道府県中央会の役員等で構成する全国

中央会の専門委員会、都道府県中央会の会長等で構成する全国大会特別委員会を経て取りまとめたもの。今後、同大会で決議した事項を全国中央会と都道府県中央会が連携して国等に要望を行っていく。

大会宣言

本日、中小企業団体の代表は、“つながる ひろげる連携の架け橋”～幸せ紡ぎ ^{あした}新しい未来へ～をテーマに、戦災、震災、水災など度重なる災害を不死鳥のように乗り越えてきた、ここ福井県福井市のフェニックス・プラザに集い、約3万の中小企業組合等の総意を取りまとめ、その実現に向けて、共に取り組み事を決議した。

中小企業・小規模事業者の経営は、度重なる自然災害等の発生、エネルギー・原材料価格の高騰や賃金引上げに直面する一方、十分に価格転嫁ができない中、さらに、人手不足、賃上げ原資の確保に苦しむなど、極めて厳しい経営状況が続いている。その状況から一刻も早く脱却し、皆が幸せを実感できる社会の実現と中小企業組合が持続的に成長・発展できるように、国等に対して、迅速かつ手厚い中小企業対策と総合経済対策を引き続き要望するとともに、次のスローガンのもと、本大会の各決議事項の早期実現を強く求めるものである。

- 1. 震災からの早急な復興、豪雨、地震対策の強化
- 1. 適正な価格転嫁対策の推進と物価の安定
- 1. 人材確保、生産性向上等、持続可能な成長支援策の拡充
- 1. 事業承継円滑化のための対策強化
- 1. 地域の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- 1. 中小企業組合等連携組織対策の拡充強化

本日参集した一同は、厳しい経営環境を克服するために一歩でも力強く前進すべく、中小企業組合等連携組織の強みを最大限に発揮し、積極果敢に行動することを宣言する。

令和6年10月24日
第76回中小企業団体全国大会



若山福井県中小企業団体青年中央会会長

5. 表彰式（優良組合・組合功労者・中央会優秀事務局専従者）

中小企業組合の振興発展に貢献した優良組合43組合、組合功労者72名、中央会優秀事務局専従者25名の表彰が行われた。

本県からは、日運茨城事業協同組合及び土浦市指定上下水道協同組合が優良組合、大津廣司笠間焼協同組

合理事長及び増淵慎治協同組合日専連しもだて理事長が組合功労者として表彰されました。誠におめでとうございます。

本誌8・9ページの「Voice」では、優良組合表彰を受賞した土浦市指定上下水道協同組合の池田理事長、日運茨城事業協同組合の湯浅理事長のインタビュー記事を掲載しておりますので併せてご覧ください。

第76回中小企業団体全国大会 本県の被表彰者ご紹介

優良組合 安全を運ぶ「信頼」と「責任」

日運茨城事業協同組合

理事長 湯浅 隆
組合住所 東海村石神内宿1945-1
設立年月日 昭和49年4月16日
(満50年)
組合員(会員)数 20人
専従者数 4人
主な共同事業 ①共同購買
②ETCの共同精算



昭和49年、輸送の品質向上、健全な事業運営の促進を目的に大手物流会社の輸送事業に携わる協力会社で設立し、今年50周年を迎えた。

共同運送、共同購買などの事業を実施するとともに安全活動を強力に推進し事故防止に努めるなど、組合員企業の経営の安定、業界の振興発展に大きく寄与している。

優良組合 ライフラインを支えるプロ集団

土浦市指定上下水道協同組合

理事長 池田 好男
組合住所 土浦市大町11-43
設立年月日 昭和44年12月24日
(満54年)
組合員(会員)数 48人
専従者数 2人
主な共同事業 ①共同購買
②共同受注



設立以来、上下水道の普及促進と発展に貢献。平成15年に土浦市と「災害復旧協定書」を締結。平成30年には「災害時における復旧工事等の協力に関する協定書」として締結を更新した。令和6年1月の能登半島地震発災後、輪島市において配水管の復旧作業に従事。ライフラインの守り手として、対応意識の更なる啓発に取り組んでいる。

組合功労者

大津 廣司

笠間焼協同組合 理事長
役員勤続年数 33年



所属組合の住所 笠間市笠間2481-5
所属組合の主な共同事業

組合員の取扱品の共同販売事業及び共同購買事業 等

組合設立時から、理事、副理事長を歴任し、平成28年から理事長に就任。笠間焼の伝統的な技術・技法の継承、後継者育成、組合員の販路拡大を目的に開催している県内最大の陶器イベント「笠間の陶炎祭（ひまつり）」や海外への販路開拓に尽力するとともに、笠間焼伝統工芸士会会長も務めるなど、笠間焼産地の振興・発展に大きく貢献している。

組合功労者

増淵 慎治

協同組合日専連しもだて 理事長
役員勤続年数 32年



所属組合の住所 筑西市丙88
所属組合の主な共同事業

- ①共同施設の設置運営事業
- ②地域貢献活動に関する業務の共同受託事業
- ③クレジット他社カードの一括加盟契約による精算代行業

平成4年から理事、平成20年から理事長に就任。令和4年12月に「地域密着」「社会貢献」「社会課題解決」「環境」を柱に、「日専連しもだてSDGs宣言」を行い、地域に根差した持続可能な社会の実現を目指すなど、長きにわたり地域経済の振興・発展、住民の利便向上に尽力している。

6. 次期開催地（広島県）の発表、大会旗継承、万歳三唱

次期全国大会は、令和7年11月12日(水)に広島県広島市で開催されることが発表され、森全国中小企業団体中央会会長から伊藤広島県中小企業団体中央会会長に大会旗が継承された。

その後、宮川正独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長が万歳三唱を行い、閉会した。



大会旗継承



万歳三唱

中小企業の持続的な成長・発展のため、第76回中小企業団体全国大会に、本県の会員組合等から「茨城県中央会 全国大会・福井ツアー」の参加者20名を含む28名が参加しました。



全国大会会場前で集合



全国大会参加者の様子

「第77回中小企業団体全国大会」は、広島県広島市で開催されます。

- ・開催日時
令和7年11月12日(水) 13:00～17:30 (予定)
①全国大会：13:00～15:30
②交流会：16:00～17:30
 - ・開催場所
①広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）
（広島県広島市中区基町4-1）
②リーガロイヤルホテル広島
（広島県広島市中区基町6-78）
 - ・主催
全国中小企業団体中央会
広島県中小企業団体中央会
- 茨城県中央会では、大会参加と宿泊、懇親会等を行う「茨城県中央会 全国大会・広島ツアー」を企画予定です。

